

活動名	引きこもりや不登校の子ども・若者と、その家族向けの余暇活動の充実		団体名称	NPO法人キドックス
			活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
			活動の目的	①不登校・ひきこもり・社会的自立支援活動
■活動概要<150～200字>		■申請書のスケジュール		■各スケジュールごとの活動内容
引きこもりや不登校の子ども・若者とそのご家族と一緒にキャンプ合宿を行い、日常とはまた違う場面で遊びを通じて彼らの主体性を育み、やりがいや生きがいを考えるきっかけとする。保護犬たちとふれあい癒され、家族との対話を深め、家族以外の人とも語り、自然に囲まれる中で自分で考え自分で作りあげる経験、その中で日々の自分を振り返り、日常の充実へつながるようなプログラムを行う。また、通信制高校に通う不登校の子どもや児童擁護施設の子どもたちへも、各施設の子供達に合わせてカスタマイズした宿泊型プログラムを提供する。		2017.9 2017.9～10 2017.11～2018.2		助成金によりキャンプ用品を購入。プレキャンプの企画内容を立案・作成。プログラムに必要な資料などの準備。通所中・卒業生のご家族にご案内。第一回目のプレキャンプ合宿を実施。アンケートの実施、スタッフ内で振り返り反省会。通信制高校の先生、児童擁護施設の職員の方へ企画案のご相談・ご提案・調整ミーティング。イベント専用webページの構築。
■活動目標	引きこもりや不登校の子ども・若者とそのご家族へ支援を提供することで、引きこもりの長期化・慢性化を予防し、生活保護世帯の減少、納税者の増加をはかる。			
■長期成果	引きこもりの子ども・若者・家族にとっては、対話が深まり家族関係を見直すきっかけ、他者と余暇を楽しむことで人生の生きがいや充実感について考えるきっかけになる。外部機関の子どもたちにとっても、心のケアや気持ちのリフレッシュ、主体性やコミュニケーション力の育成、将来の生き方について考えるきっかけになる。			
■活動風景				
				
テントを貼ったときの様子		みんなで野外で夕飯作り		朝食も野外で手作り
■上期の成果と下半期に向けた改善点			■実施体制	
<p>&lt;上期の成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普段は就労や自立へ向けた訓練プログラムが中心のため、そこからは少し離れて、野外活動でリフレッシュすることができた。普段体調が悪く参加率が低い子や、消極的な子も、自ら積極的に参加し、みんな生き生きとしていた。</li> <li>コミュニケーション面においても、共同作業を通じて会話が生まれた。また、夜に焚火を囲みながら、本音を話すことで、その後の日常に戻ったあとも、若者同士で家族のことや悩みなどの本音を話すきっかけができた。</li> </ul> <p>&lt;下半期に向けた改善点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親の参加率が低く、親子関係がうまくいっている家庭は参加していただき、うまくいっていない家庭は「そんなの必要がない」と不参加だったり、子どものほうが親が参加することを拒否する家庭もあった。親子関係がうまくいっていない家庭ほど、親御さん自身が問題意識がない、または、子どもとの関係に対する誤認識があった。</li> <li>親御さん面の改善点は、まずは親御さんが子ども自身のことや子どもの進路、また、プログラムに対してどのような考えをもっているのかを知っていくことから始める必要性を感じたため、年1回以上は親御さんとの面談を行うこととした。</li> <li>若者・子ども面の改善点としては、そもそも余暇を親と過ごしたくない・親と余暇を楽しむ概念がないという子も多く、若者たちと改めて余暇について話し合う機会の必要性を感じた。彼ら自身にとっての余暇とは、人生のどういう位置づけなのか？どういうことを余暇と定義しているのか？若者たちも交えた企画ミーティングを行うこととした。</li> </ul>			 <pre> graph LR     A[Kidokkusu 通所中の若者] --- B[Kidokkusu スタッフ6名 企画 事前準備 当日運営]     C[Kidokkusu 通所中の若者のご家族] --- B     B --- D[通信制高校]     B --- E[児童養護施設]   </pre>	
〒300-4111 (住所)茨城県土浦市大畑1440 (団体名)特定非営利活動法人キドックス (ホームページ): <a href="http://kidogs.org">http://kidogs.org</a>			助成金額 500,000円	
			助成期間 H29.9.1～H30.8.31	

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。